



学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」  
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

祈合  
願格

## 令和6年度長崎県公立高校「後期選抜」学力検査

祈合  
願格

### 3月6日・7日実施! 3年生83名の合格を心より願っています!

いよいよ令和6年度長崎県公立高校「後期選抜」学力検査が、令和6年3月6日(水)・7日(木)の二日間で実施されます。

本校からは、私立高校合格者・公立高校前期選抜学力検査合格者等の進路が確定した(※県立の通信制高校希望者も含む)男子生徒61名、女子生徒72名、合計133名を除く男子生徒54名、女子生徒29名、合計83名が各志願高校で「後期選抜」学力検査を受検します。

83名の3年生のみさんのこれまでの受検に対する継続された取組は、間違いなく自分の目指す、春の新生活のスタートにつながっているはずで、自分の力、可能性を信じて、これまでの積み上げてきた学習の成果を、この公立高校「後期選抜」学力検査でしっかりと発揮してください!

学びや努力の先にあるのが「希望!」 受検生83名全員の合格を心より願っています。

#### 【1・2年生のみさんへ】

高校への合格は、自分の力でしか勝ち取れません! その志望校合格を成し遂げるためにも、公立高校、私立高校における入学試験の概要・日程を理解し、1年後、2年後の自分自身の高校入試をしっかりとイメージする中で、計画的に学習に取り組んでいくことが大切です。特に、令和6年度から実施される長崎県公立高等学校入学者選抜制度はこれまでの制度と大きく変化しており、調査書では主体的に学習に取り組む態度が重点的に評価されたり、学力検査においても日常生活や社会問題等と関連した探究的な学びを取り入れた新しい問題が組み込まれる予定です。つまり、生徒一人一人の日々の学習の質が大きく問われることになるのです。

自分の未来を素敵なものに作り上げるためにも、現在の学習とこれまでの復習に継続的に取り組み、春の新しい学年でのスタートに向けて、切れ目のない学びに取り組んでほしいと思っています。

志望高校	学科	受検者数	志望高校	学科	受検者数
諫早高校	普通科	5名	大村城南高校	総合学科	8名
西陵高校	普通科	3名	諫早商業高校	商業科	1名
大村高校	文理探究科	14名		情報科	1名
	普通科	21名	国際コミュニケーション科	1名	
	定時制	2名	諫早農業高校	生活科学科	1名
大村工業高校	機械科	4名		農業科学科	1名
	機械システム科	7名	長崎東高校	普通・国際科	1名
	電気科	3名	長崎北陽台高校	普通科	1名
	電子工学科	3名	国見高校	普通科	1名
	建築科	1名	令和6年度長崎県公立高校「後期選抜」学力検査・受検者一覧		
	建設工業科	1名			
	化学工学科	3名			

## 3月14日(木)「第77回卒業証書授与式」を開催します! 3年生216名の新しい門出に幸多きことを心より願っています!

まだまだ肌寒い日が続いていますが、季節は確実に春へと移り変わり、本校武道場裏の河津桜も満開の時期を迎えています。また、校長室に差し込む陽光も一段と明るくなり、天気の良い日には、昼休みに運動場で遊ぶ生徒たちの元気な声が、早春の風と共に私の耳を楽ませている今日この頃です。

さて、3月6日・7日に実施される「公立高校後期選抜学力検査」では、本校からは83名の3年生が受検をします。また、公立高校「後期選抜」を受検しなかった3年生の生徒達も「立つ鳥運動」に取り組み、中学校という青春時代を過ごした学舎である教室・廊下・トイレ等の清掃活動に取り組む予定です。

そして、この「公立高校後期選抜学力検査」や「立つ鳥運動」が終了すると、いよいよ本校最大の学校行事「第77回卒業証書授与式」に向けて、本格的に準備・練習が始動していくこととなるのです。

3月14日(木)に開催します「第77回卒業証書授与式」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため制限を加えられたこれまでの卒業式とは異なり、保護者・来賓の皆様方にも参列いただく中で、卒業生、在校生の全校生徒と全職員が共に集う5年ぶりの制限なしの形で開催させていただきます。

本校の3年生216名の新たな門出を祝うこの三月の良き日、多くの保護者、来賓の皆様にご臨席をいただく中で、厳かな雰囲気の中にも、卒業生をお祝いする温かな思いがたくさん詰まった「第77回卒業証書授与式」を、「チーム郡」の力を結集して作り上げたいと思っています。

ご来校を心よりお待ちしております。



# 2月21日(水) 2年生対象に「薬物乱用防止教室」を実施しました!

講師 長崎県警スクールサポーター 田中克喜 様

今回の講演会では、長崎県の薬物の状況や検挙数等も伝えていただく中で、資料を提示しながら薬物の危険性をわかりやすく学ぶことができました。また、再現ドラマや薬物のレプリカを実際に見せていただくことで、生徒たちは薬物に対する危機感をより高めることができたと感じています。

後半には、勧められた時の断り方を、グループによるロールプレイで具体的に学ぶ場面なども組み込まれており、生徒全員が積極的に学習に取り組む姿から、「人ごとではない」「自分のこととしてしっかりと考える」という真剣な思いが伝わってきました。自分や大切な家族の人生を守るためにも、この「薬物乱用防止教室」で学んだことをしっかりと活かしてほしいと思っています。(保健だより2月29日号から一部抜粋)



## 3月3日(日) 第42回大村市青少年健全育成研究大会で素敵な意見発表を行いました。



2年 村川瑞季さん 「私たちにできること」  
一部抜粋して紹介させていただきます! ご一読ください。



### 「私たちにできること」 2年 村川瑞季

私は、以前発展途上国や難民の方についての講演会に参加しました。そこで 中村 哲さんという医師に密着し、その功績を紹介した映像を見ました。中村さんはパキスタンで医療支援に取り組みました。それから大干ばつに襲われていたアフガニスタンでは水の確保や200km以上にも及ぶ水路を建設して、たくさんの方の命を救った方もあります。

そのため 現地の方にとっても尊敬されていました。映像の中にはお金がなく、病気になって亡くなってしまう人や、勉強するための教材がなく十分な教育を受けられない人がたくさんいました。その時、私は、発展途上国の人々は大変な思いで生活しているということを知りました。

そこで私も中村さんのように何か人の役に立ちたいと思い、講演会の中で「私たち中学生がそのような方たちにできることはありますか?」と質問しました。すると発展途上国の子供たちのために文房具やランドセルなどの寄付ができるということを教えてくださいました。

それは以前、新聞やテレビコマーシャルでも何度かそのような寄付活動を見たことがあり、私も興味を持っていたことでした。私たちが 使わなくなったランドセルや文房具を発展途上国の子供たちに寄付すればその子たちが再び使ってくれます。この活動を行うことで SDGs17の4番「質の高い教育をみんなに」と12番の「使う責任 作る 責任」が達成できるのです。

中村さんの好きな言葉に「一遇を照らす」というものがあります。これは一人一人が自分の暮らす場所で誠意を尽くして生きていくことが世界全体を良くしていくことにつながるという意味です。世界に紛争や貧困がなくなり、安心して平和に暮らす人を増やしていくためには、まず世界の現状を知り、そこで暮らす人々に心を寄せて行動することが大切です。私も発展途上国の人や難民の方の役に少しでも立てるようにランドセルの寄付や募金を積極的にしていきたいと思います。皆さんも使わなくなったランドセルや文房具を発展途上国の子供たちに寄付してみませんか?



アフガニスタンでは男女別々のクラスで勉強をします。ランドセルをもらった男の子はみんな嬉しそう。(上の写真)

アフガニスタンではタリバン政権時代に女子教育が認められていなかった影響もあり、男の子に比べて女の子は学校に通わせてもらえない子がたくさんいました。ランドセルを男女平等に配ることで「女の子も男の子と同様に学校で勉強させてあげるべき。」と思う親の考え方が少しずつ変わりはじめました。

#### 「ランドセルは海を越えて」

使われなくなったランドセルを紛争と混乱が続くアフガニスタンの子どもたちに届け、学ぶ喜びを知るきっかけにしたい。  
化学メーカー「クラレ」ホームページより

## 「新たな環境が人をつくる」郡中学校長寿命化計画第一段

# C棟・技術室外装工事、武道館改修工事が終了!



新しく塗り替えられたC棟全景



お色直しを行った技術室。雨樋もきれいに新しく整備しました。



剣道場に使用している床も、武道場全ての壁、扉、ブラインド等も全面リニューアルしました。当然ながら、武道場の壁も屋根も新しく塗装しています。



令和2年度の「7月豪雨」を教訓に、避難所になることも想定してシャワーユニット、ウォシュレット付トイレも完備しています。